

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 4 年 月 日

アンケート期間:令和 4 年 2 月 5 日 ~ 3 月 5 日

事業所名 アステリズム

保護者等数(児童数) 14 回収数 13 割合 93 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13			公園など外活動が多く子どもがストレスをためずに過ごせる。	十分とは言えないが活動と学習の部屋を分けるなど工夫しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13				必要な人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5			トイレは建物の構造上バリアフリー化できていない状態です。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13				保護者のニーズや課題を把握し作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13			プログラムも工夫されていて玩具も充実していると思います	コロナの影響もあり計画通りに行かない事もありますが、感染防止対策を行いながらの活動を心がけています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	6	1	よく知らない	現在、交流する機会を設けていませんが所外活動の際に交流する機会があります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1		事前によく説明がありました	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			毎日の送迎時にその日の出来事を伝えて頂き助かります	今後も共通理解に努めています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13			悩み事に対して助言してもらえる	適切な助言や支援ができるよう職員の資質向上に努めます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	3		今後、保護者の意見をお聞きし検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1			苦情について対応の体制を整備し、苦情があった場合は速やかに対応しています。契約の際に重要事項説明書にて説明しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			とても話しやすい雰囲気です	子どもたちが理解できるような伝え方を心がけています。保護者の要望に応じた情報伝達に努めています。
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3			毎月行事予定表の配布を行っています。自己評価の結果は洞北福祉会HPで公開しています。	

	14	個人情報に十分注意しているか	13				書類等の扱いには十分に注意し決められた場所への保管、施錠を徹底しています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	1	よく知らない 私が覚えていないだけかもしれない	マニュアルを策定しています。契約の際にお伝えはしていますが、今後より細かな説明を行っていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		私が覚えていないだけかもしれない	子どもたちも参加し、年2回防災訓練を行っています。消火訓練、通報訓練等行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1	1	先生たちも優しくいつも楽しく通っています いつも楽しいと話しています	活動プログラムを充実させ通所を楽しみにしてもらうよう工夫していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	13				今後もより良い支援を提供できるよう知識の研鑽に努めます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4 年 3 月 14 日

公表:令和 4 年 月 日

事業所名 アステリズム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動と学習で部屋を分けるなど工夫しています。今後は食事中のパーティション設置など感染対策を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○			必要な人員配置を行っています。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		トイレはバリアフリー化になっていません。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動毎に計画、振り返りを行い業務改善に努めています。
業務改善	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に一回実施し、意向を取り入れ業務改善に役立てています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			洞北福祉会のHPに公開させていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		コロナの影響で開催中止が多く実施できていない状況。リモートでの開催があった際は参加しています。ネットや文献により学びの時間を確保している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			適宜アセスメント、面談を行い支援計画の作成を行っています。
適切な 支援の場	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを使用しアセスメントを行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ間で相談し行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			職員間で話し合い季節ごとの制作、所外活動など取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定し支援しているか	○			土曜日、長期休暇など普段できない活動を取り入れるなど工夫しています。長期休暇も学習時間を確保し支援を行っています。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している		○		集団での活動(あそびり)を行っています。個々の課題に応じた個別活動を取り入れていきます。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で確認や打ち合わせや確認を行っています。支援開始前や非常勤職員出勤後にも情報共有を徹底していく。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎があり全員での終礼は難しいため朝礼時に前日の振り返りを含め共有を行っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日、支援記録をとる事を徹底し共有に努め、改善に努めています。
18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリング、計画の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせて支援を行っているか	○			子どもたちの発達に応じて自立支援、制作活動など複数組み合わせで支援を行っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			実施される場合は担当職員が参加しています。

21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有に努めていますが、学校によっては直接教えていただけないため、保護者へ確認を行っています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療ケアが必要な受け入れは行っていません。
23	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要な場合は情報共有しています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ、卒業生を輩出していません。
25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		児童発達支援センター主催の研修にリモートで参加しています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		所外活動などで交流する機会があります。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加していません。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時にお伝えし共通理解に努めています。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			○	現在は実施していません。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約の際、説明させていただいています。今後も丁寧な説明に努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は対応させていただいています。
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現在は実施していません。保護者の意見をお聞きしながら検討したいと思います。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			保護者からの苦情、相談があった場合は報告し対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報等は発行していません。行事予定などは毎月の利用予定表や連絡帳などでお知らせしています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	○			取扱いに注意し、決められた場所への保管、施錠をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者の特性に合わせた伝え方の工夫をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、実施していません。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			○	マニュアルを策定しています。保護者への周知が不十分な為、改善していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回防災訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年に1回研修を行っています。
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○	身体拘束を必要とする状況はありませんが今後必要な場合はマニュアルを元に話し合っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書のコピーをいただき対応しています。おやつはアレルギー対応の物を準備しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			報告、記録し情報共有しています。事例集を作成しファイリングしています。